

プログラミング (Java) 定期試験に向けて (太田)

■定期試験の方法

実技試験：5101教室、試験時間80分、持ち込みすべてOK、作成するプログラムは3本。
提出物：プログラムファイルと実行画面をコピーしたファイル(授業時の提出物と同じ)。

■準備作業 次の場所に提出用フォルダを作成すること。

場所：[public]→[jugyo]→[kenkou]→[太田]→[Java 試験]の中。

作成するフォルダ：xxP21xxx 氏名 (フォルダ名は学籍番号と氏名) 例 A9P21200 文教一郎

■変数とデータ型

整数	int型	10進数の範囲	-2, 147, 483, 648 ~ +2, 147, 483, 647
実数	double型	倍精度の実数を表現	
文字	char型	シングルクォーテーションで囲んだ1文字	'a' '5' '文'
文字列	String型	ダブルクォーテーションで囲んだ文字列	"bunkyo" "文教大学"
配列の宣言と生成		<code>int[] kazu = new int[5];</code>	<code>char[] moji = new char[4];</code>

■基本的な計算と文字の操作

- ・四則演算 (+ - * / %)、インクリメント (n++ n--)
- ・数値のけた数指定の方法 DecimalFormat の使い方 (0.00 #,### など)
- ・大文字→小文字の変換 (toLowerCase) 小文字→大文字の変換 (toUpperCase)

[文字配列の操作]

- ・String 型変数 (文字列) を配列に入れる → 配列名=String 型変数.toCharArray()
- ・文字型配列から String 型の値を生成する → String 型変数=new String(配列名)

■キーボードからの入力 (文字列、整数、実数、文字の入力)

```
BufferedReader inp=new BufferedReader(new InputStreamReader(System.in));
String keybd;
System.out.print("入力してください->");
keybd=inp.readLine();
```

■選択処理 (if 文)

- ①単純 if 型 (もし~ならば、〇〇〇を行う)
- ②if-else 型 (もし~ならば〇〇〇を行い、そうでないときは×××を行う)
- ③if-else if 型 (else のあとに、さらに if を続ける書き方)

■ループ処理 (for 文・while 文)

```
for ( 初期値 ; 繰り返し条件 ; 増分値 ) {
    処理の内容
}
```

初期値	→ ループの前処理
繰り返し条件	→ ループを継続する条件
増分値	→ 1回のループの後処理

```
while ( 繰り返し条件 ) {
    処理の内容
}
```

繰り返し条件	→ ループを継続する条件
--------	--------------

■Java アプレット

- ・実行方法→コマンド欄に「appletviewer Applet_xxxx.java」を入れて「実行」をクリック
- ・基本図形の描画 (直線、四角形、円、色の設定など)
- ・for 文を利用した幾何学模様の描画 (例) 三角形の模様、直線の模様など